

前橋市で最初のコンクリート橋「石川橋」を70年ぶりに架け替えました

本市では、街路事業として都市計画道路県庁群大線の整備事業を進めており、広瀬川に架かる石川橋の架替工事を70年ぶりに行いました。

1 事業概要

事業名	都市計画道路 県庁群大線整備事業		
事業区間	大手町三丁目地先から平和町一丁目地先 (主) 前橋安中富岡線交差点(臨江閣南)から市道00-014号線平和郵便局前交差点 延長=594m 幅員=19m		
事業期間	平成8年度～令和5年度(予定)		
全体事業費	33億7千万円(見込み)	進捗率	96%(令和元年度末)

2 石川橋について

石川橋は、大正4年に本市では最初のコンクリート橋として架設され、昭和25年に拡幅改修されました。今回、平成30年8月に工事に着手し、本年7月末に、70年ぶりに架け替えられました。

【特筆事項】

- ① 旧橋の保存として、親柱、高欄については臨江閣とるなばあくを結ぶトンネル上部に原形のまま移設。また、解体前には三次元レーザー測量によりデジタルデータとして保存。
- ② 新橋の意匠については、旧橋の雰囲気を踏襲し天然石の親柱、高欄を設置。
- ③ 4本の親柱に刻まれた橋名や河川名については、前橋市文化協会へ依頼し、書道部会長である大井美津江先生おおいみつえが揮毫(5月11日市役所にて受渡し)。

【石川橋の変遷】

大正4年5月竣工	橋長 13.2m	幅員 4.2m	鉄筋コンクリート橋
昭和25年3月改竣	橋長 13.6m	幅員 6.2m	鉄筋コンクリート橋(拡幅改修)
令和2年7月竣工	橋長 15.2m	幅員 19.8m	PC単純プレテンション中空床版橋

3 現状と今後の予定

本事業は、平成8年度に事業着手し、現在も道路改良整備を続けています。今年度の工事は、石川橋前後の道路改良を進め、来年度以降は、電線事業者(東京電力、NTT等)による電線共同溝への入線工事等を予定し、令和5年度の事業完了を目指しています。

担 当 市街地整備課 工務係

電 話 027-898-6967